

## ■電子調達システム（政府電子調達（GEPS））の利用開始について

中国四国防衛局では、平成28年3月より「電子調達システム（政府電子調達（GEPS）」を利用して調達を行う予定です。

電子調達システムとは、総務省が運用し政府機関（府省等）が共同利用するシステムで、政府が行う「物品・役務」及び「一部の公共事業」に係る一連の調達手続きをインターネット経由で電子的に行うことができるシステムです。

本システムを利用することで、入札だけでなく、契約や納入検査、請求までの一連の調達業務を電子的に処理できるようになります。

電子調達システムは、総務省の運営するポータルサイト「政府電子調達（GEPS）」からご利用いただけます。

## ■電子調達システム利用のメリット

電子調達システムを利用することにより、以下のようなメリットがあります。積極的なご利用をお願い致します。

詳細はこちらをご覧ください。<https://www.geps.go.jp/introduction>

- ・調達手続きに係る一連の業務がインターネット経由で電子的に処理できるため、調達窓口への移動に係る交通費や各種書類を郵送する際の郵送費、書類の保管費などのコスト削減が可能。
- ・電子調達システム上で締結される契約書については、電磁的記録により作成されたものであり、実際に文書が作成されていないことから、印紙税法上の課税物件が存在しないことになり、印紙税が課されない。
- ・契約書等の書類については、電子署名とタイムスタンプ（時刻証明）を組み合わせることで原本性を保証した上で電子調達システム上に保管され、その真正性は10年以上保証される。これらの契約書等の書類は、必要ときに電子調達システムにアクセスすることで、いつでも参照することが可能。
- ・利用期間の調達案件であれば、統一化された同一の操作で入札・契約業務等が可能。さらに、府省等ごとに利用者登録を行う必要がなくなるなど、業務の効率化や利便性の向上が図れる。
- ・24時間365日いつでも利用可能（システムメンテナンス時を除く）。